

誇りと責任 輝いて見えた 世界の仕事

私には遠い存在で訪問することなど想像もしていなかったスイスに本部を置くWHO(世界保健機関)。実際に訪問させていただき、とても感動しました。今までは、自分の身近なことにしか目を向けていませんでした。しかし、ジュネーブやウィーンで国際機関を訪問し、実際に働いている方と話したことで、自分にも世界で活躍できる可能性があるかもしれないと思うようになりました。特に私が楽しみにしていた



Reporter

武生高校1年
つきおか みさき
月岡 美咲

国際機関で働く日本人に
学ぶ視察研修会



WHO前にて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

WHOでは、予定を変更してもらって、医師である進藤奈邦子先生のお話を聞くことができ、うれしかったです。私は、進藤先生がおっしゃっていた「狭き門から入れ」という言葉が心に響きました。これからはこの言葉のとおり、多くのことに手を付けるのではなく、一つのことしぼって、自分の得意な分野を伸ばしていきたいと思っています。WHOだけでなく、国際機関で働く日本人は、自

分の仕事に誇りと責任を持っていたので、とても輝いて見えました。彼らは私のあこがれです。私もいつか彼らのように国際機関で働きたいと思っています。私の将来の夢は、これまでに「医師になること」でした。しかし、今は今回の視察研修会のおかげで多くの可能性に気づいたので、「医学の勉強をしてキャリアを積んでからWHOで働くこと」が私の夢です。そのため

に、今まで以上に英語に積極的にふれ、留学などをし、国連の公用語であるフランス語も習得していきたいです。

私は、今回の視察研修会に参加できて本当によかったと思っています。6日間のとても短い期間でしたが、私一人では絶対にできないようなことを体験させてもらうことができ、本当に感謝しています。今までは、特にこれといった目標もありませんでしたが、貴重な体験の中で、ようやく目標が明確になりました。今回の視察研修会の関係者の皆様、私にこのような機会を提供してくださる、本当にありがとうございます。

エネルギー とこと

東日本大震災・福島原発事故から5年余が過ぎましたが、被災地の復興と原子力利用に対する信頼回復は道半ばです。若い人たちが国際的な視野を持ち、日本や世界のエネルギーの問題を真剣に考え、行動されることを願っています。

福井県経済団体連合会 会長 川田 達男

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 [検索](#)

今回は9月2日(金)掲載予定

視察研修会に参加した高校生が学んだこと・体験したことをシリーズで紹介していきます。